


歴史総合から探究へ

山川出版社の「歴史総合」は近現代の日本史・世界史を相互に関連付けながら、バランスよく記述しています。日本史・世界史それぞれの大きな流れや基本的事項を学習できるため、選択科目の日本史探究・世界史探究へとつながり、**通史的な視点からより深い「探究」の学習を進める**ことができます。



歴史総合


近代から現代へ

歴総707

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容。
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識。
- 歴史の着眼点となる問いかけを設定。

→p.20



現代の歴史総合


みる・読みとく・考える

歴総708

深める歴史
テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習。
- 深い学び、考える授業の実現。
- グループワークに最適！ 主体的・対話的な学びも。

→p.30



わたしたちの歴史

日本から世界へ

歴総709

見開き47テーマ
ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ。
- 身近な歴史から世界をみる。
- 教えやすい学びやすいシンプルな構成。

→p.40

日本史探究とは

「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、**我が国の歴史の展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解**するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究**する科目です。

日本史探究



日探705

『詳説日本史』

詳しい内容と豊富な史資料
信頼の教科書 →p.50



日探706

『高校日本史』

豊富な材料で楽しく学べる
生徒が読んでわかる教科書 →p.60

世界史探究とは

「歴史総合」の学習で身に付けた資質・能力を基に、**世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解**するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究**する科目です。

世界史探究



世探704

『詳説世界史』

世界史の枠組みを体系的に学べる
信頼の教科書 →p.70



世探705

『高校世界史』

基本をおさえて、資料で深める →p.82



世探706

『新世界史』

考える歴史の時代に向けて
新しく生まれ変わった『新世界史』 →p.90

指導用資料のご紹介

教師用指導書「授業実践編」

- 各教科書の授業実践に活用いただける材料や史資料、解説を収録
- 授業準備や授業中に役立つデジタルコンテンツを収録した付属データDVD付き



教師用指導書「研究編」

- 各科目ごとの歴史事象やその背景、史資料の詳細な解説を収録
- ※デジタルコンテンツを収録した付属データDVDは付きません



教師用指導書「授業実践編」・教師用指導書「研究編」・「授業実践編」付属データ・指導者用デジタル教科書(教材)

「授業実践編」付属データ 収録コンテンツ一覧

分類	コンテンツ名	ファイル	歴総707	歴総708	歴総709	日探705	日探706	世探704	世探705	世探706
			『歴史総合』	『現代の歴史総合』	『わたしたちの歴史』	『詳説日本史』	『高校日本史』	『詳説世界史』	『高校世界史』	『新世界史』
準備業	教師用指導書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○
授業用教材	教科書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	授業用スライド	PowerPoint	○	○	○	○	○	○	○	○
	スライド対応ワークシート	Word		○	○	○	○	○	○	○
	授業用アニメーション動画	MP4			○					
教材作成	教科書本文テキスト	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載史料テキスト	Word				○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 カラー	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 モノクロ	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート本文テキスト	Word				○	○	○	○	○
	白地図集	JPEG		○		○	○	○	○	○
評価・テスト	準拠テスト例	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	年間指導計画・評価規準例	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○

指導用資料 定価一覧

教科書番号	商品名	税込価格
歴総707	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
歴総708	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	歴史総合 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	歴総707『歴史総合』 指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
歴総708『現代の歴史総合』 指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
歴総709『わたしたちの歴史』 指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
日探705	『詳説日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『高校日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	日本史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
日探705『詳説日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
日探706『高校日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
世探704	『詳説世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
世探705	『高校世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
世探706	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	世界史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	世探704『詳説世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
世探705『高校世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
世探706『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

指導者用デジタル教科書(教材)

インストール版 【同一の学校建物内の指導者用端末に限りインストール数の制限なし】

- (インストール方法①) 各利用端末に直接インストールしてご利用ください。
※端末インストール(スタンドアロン)はWindows PCのみの対応となります。
- (インストール方法②) DVD-ROMに収録されているデジタル教科書のデータを学校・教育委員会等に設置されているWebサーバーにアップロードのうえ、各利用端末からアクセスしてご利用ください。
※ファイルサーバーは動作保障環境の対象外です。

クラウド版 【校内フリーライセンス】

- 弊社からライセンス証・学校管理者向けスタートガイドをお送りします。スタートガイドに沿って初期設定作業をしていただくことで、作業完了後、ライセンス証記載の利用開始日よりご利用いただけます。
- オンライン環境にて、各利用端末から弊社指定のクラウドサーバーへアクセスしてご利用ください。

「授業実践編」付属データを活用した

効率的な授業展開例

『わたしたちの歴史 歴経709』 授業展開例



1 導入 授業用アニメーション動画で学習のポイントを提示



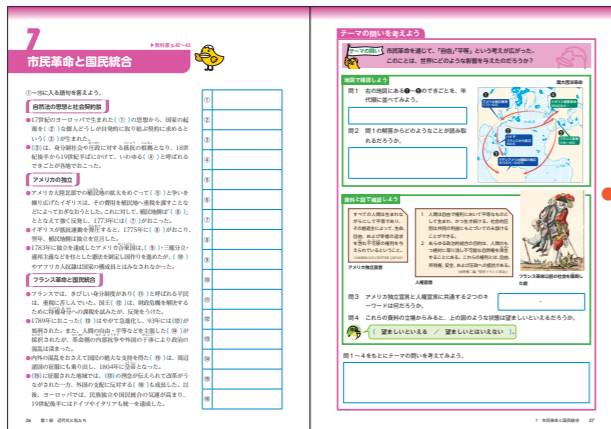
2~3分のアニメーション
授業冒頭の導入に最適

2 展開 授業用スライドや教科書紙面PDFを活用して板書を省き、スムーズに進行



拡大表示にも対応した
解像度

3 まとめ 準拠ノート紙面PDFでプリント教材の準備を削減



テーマの問いにも
スムーズに取り組める
わかりやすい構成

『高校世界史 世探705』 授業展開例

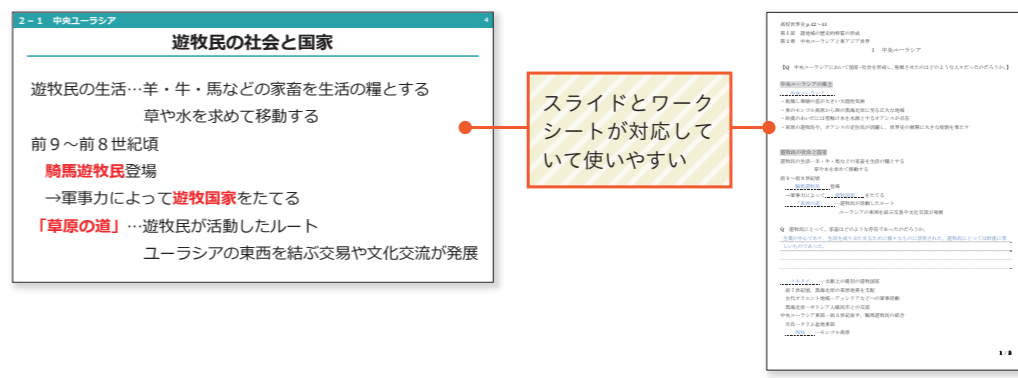


1 導入 教科書紙面PDFで写真や資料を大きく投影し、考察を促すきっかけに



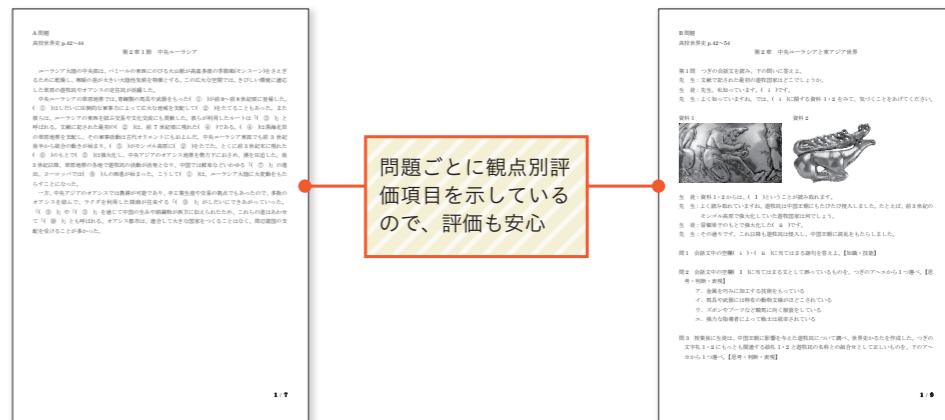
写真も含めた教科書紙面を
そのまま収録

2 展開 授業用スライドと生徒用ワークシートで板書を省き、少ない時間数でもスムーズに授業を展開



スライドとワーク
シートが対応して
いて使いやすい

3 まとめ 観点別評価に対応した「準拠テスト例」で知識の定着を確認、資料を活用した読み解き問題も



問題ごとに観点別評
価項目を示している
ので、評価も安心

\ 「授業実践編」付属データの /

ご利用方法は **2** 通り をご用意しています。

データを利用する端末にDVDドライブが

付いている

DVDドライブ付き
ノートPC

付いていない

DVDドライブ非搭載ノートPC、
タブレットPCなど

1 『DVDディスク』から
データをインポート

DVDディスクをドライブにセットし、
データをPCにインポートしてご利用く
ださい

2 Webサイトから
データをダウンロード

『山川&二宮ICTライブラリ』からデータ
をダウンロードしてご利用ください

利用開始！

\ **3**ステップで完了！ /

Webサイトからのダウンロード手順



ダウンロード手順

- STEP 1** 山川&二宮 ICTライブラリ (<https://ywl.jp>) へアクセスしてください
※または、検索ブラウザから「ICTライブラリ」で検索してサイトへアクセスしてください
 - STEP 2** トップバナーの[会員登録/ログイン]から会員登録(無料)してください
※すでに会員登録がお済みの先生は、登録済みIDでログインしてください
 - STEP 3** ログイン後、右上の アイコンから [ライセンス管理] ページへ進み [ライセンス追加] をクリックし、画面の案内に従ってライセンスコードを入力してください
認証に必要なライセンスコードは、付属DVDの盤面に記載された9桁の数字です
※コードは半角数字でご入力ください
- ◎ ライセンス認証が完了したら、トップページ右上のマイライブラリ>マイコンテンツからデータをダウンロードしてご利用ください

山川&二宮ICTライブラリ

詳しい情報はこちらから



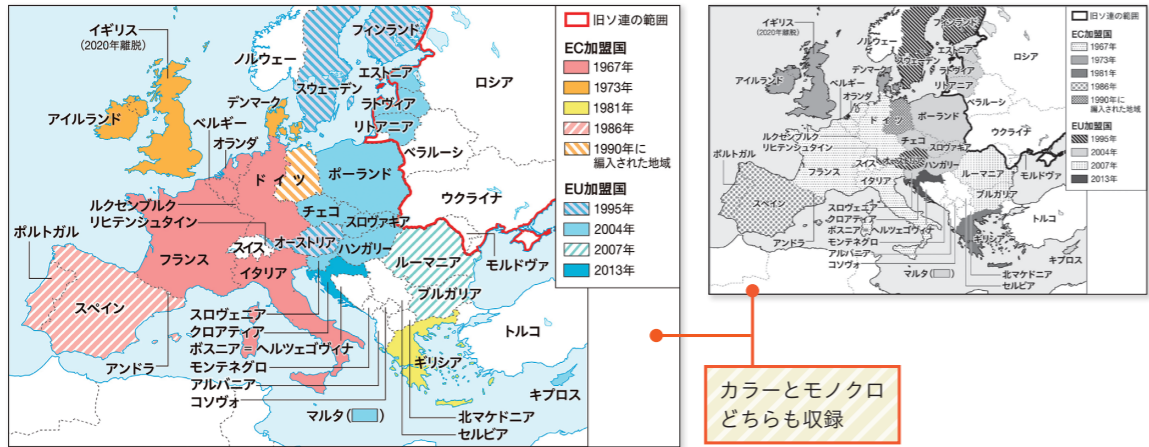
3 教科書掲載地図・図表・白地図集



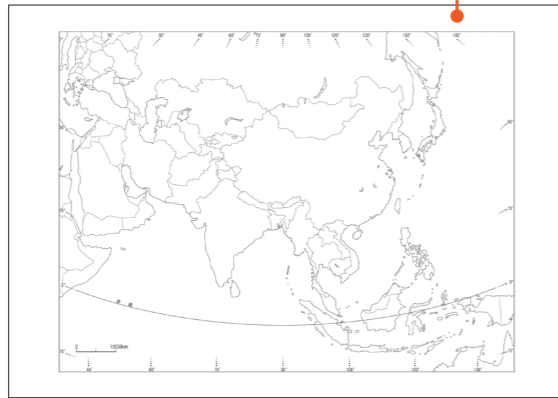
歴総 707
歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
授業
テスト・評価

※白地図集は「歴総707」「歴総709」には付きません

Point プリント教材や授業用スライド、テストの作成に！



プリント作成に便利な白地図も収録



4 教師用指導書紙面



歴総 707
歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
授業
テスト・評価

Point タブレットやモバイルPCに入れていつでもどこでも参照できる

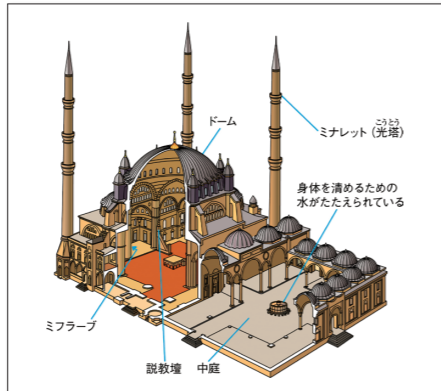
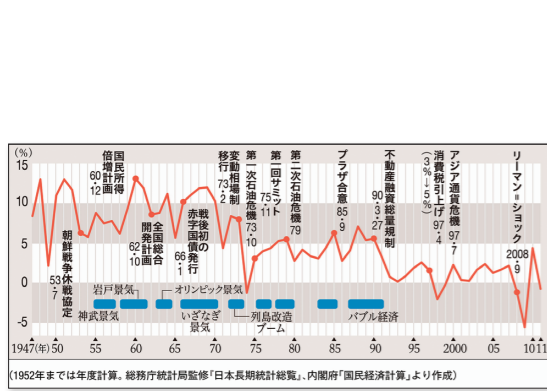
「高校日本史(日探706)」/教師用指導書紙面

5 教科書掲載問い・解答例一覧



歴総 707
歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
授業
テスト・評価

Point 教科書に掲載している「問い」と「解答」を一覧表で収録



章や節など単元ごとにソートしてスムーズに確認

問い	解答例
18 自然環境の変化をきっかけに、人々の生活や社会はどのように変化したのだろうか。	人類は農などの動物の栽培を中心とする農耕・牧畜を開始し、社会や経済、政治の発展を経験し、定住による生活様式へと移行した。
19 農耕・牧畜は、自然環境のどのような変化から生まれたのだろうか。	約1万年前に氷期が終わり、地球が温暖化したという変化から生まれた。
20 文明が生まれるためには、どのような条件が必要だったのだろうか。	多くの人口を養うための灌漑農業による食料の大生産と、余剰の人間を統一して支配する国家という前提が必要であった。
21 古代オリエント文明は、世界の歴史にどのような影響を与えたのだろうか。	メソポタミア文明が、世界で生まれた文字や天文学、算術といった科学的知識、また「ゾロアスター」の創始者であるゾロアスターの宗教が、後の文明に大きな影響を与えた。
22 オリエントの諸国は、その文明の特質とどのような関係にあるのだろうか。	都市国家に集約された政治体制、専制政治、専制政治の中心でもあり、王や神官、僧侶などが権力を握り、専制政治を築いた。専制政治は、専制政治の中心でもあり、王や神官、僧侶などが権力を握り、専制政治を築いた。
23 都市国家に集約された政治体制は、なぜ必要だったのだろうか。	都市国家に集約された政治体制は、専制政治を築いた。専制政治は、専制政治の中心でもあり、王や神官、僧侶などが権力を握り、専制政治を築いた。
24 メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産には、何が挙げられるだろうか。	メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産には、何が挙げられるだろうか。
25 灌漑法の原則がみられる文献はどれだろうか。また灌漑者の身分によって刑罰に差があるのはなぜだろうか。	1851年、1852年の灌漑法に関する文書に、灌漑者の身分によって刑罰に差があるのはなぜだろうか。
26 エジプト王期が長期にわたって安定した支配を続けたのは、なぜだろうか。	エジプト王期が長期にわたって安定した支配を続けたのは、なぜだろうか。

「詳説世界史(世探704)」/教科書掲載問い・解答例一覧

8 授業用スライド



歴総 707
歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
→
授業
→
テスト・評価

Point 各単元に即した内容ですぐに授業をはじめられる

対応するワークシートも収録、スムーズに授業が展開できる

II-5-1 院政の始まり 後三条天皇の荘園整理

5 荘園公領制への移行

貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制(荘園公領制)に変化した。

【律令制】 国一郡一里(のち郷)

↓

【荘園公領制】 国一荘

郡(長: 郡司)

郷(長: 郷司)

保(長: 保司)

}

公領

荘園公領制のしくみ

「高校日本史(日探706)」/授業用スライド

PowerPointファイルなので加工も自由、オリジナルスライドのベースとしても使える

宗教改革と科学革命

1 宗教改革

カトリック教会への抗議の動きとして**プロテスタント**諸派が登場した一方で、**カトリック**の側でも改革の動きがおり、近世の西ヨーロッパでは全般的に宗教意識が高まった。

新教の広がり(1560年頃)

「歴史総合(歴総707)」/授業用スライド

9 スライド対応ワークシート



歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
→
授業
→
テスト・評価

※スライド対応ワークシートは「歴総707」には付きません

Point 授業用スライドに対応した生徒用ワークシート

プリント教材準備の負担を軽減

ワークシート
高校日本史 p.60~66

第5章 院政と武士の進出

本日の学習課題
中国で宋が、朝鮮半島で高麗がおり、日本では地方で武士が成長し、荘園が各地にうまれた。こうしたなかで摂関政治が衰退して院政が成立し、武士が台頭するが、それはなぜだろうか。

- 院政の始まり
 - ◆日本列島の大きな変化
 - 1 政治の転換
 - 11世紀後半、天皇家や摂関家・大寺社は税収が減少して財政が不安定になるなか、荘園の拡大をはかった。地方では豪族・開発領主が力をのばした。
 - 2 武士の成長と大陸との交通
 - 武士は貴族や大寺社と結びついて私領の拡大をはかり、源氏が奥州に勢力を広げた。九州では、日宋貿易の窓口である博多の周辺に、大寺社や上級貴族が進出した。
 - ◆後三条天皇の荘園整理
 - 3 後三条天皇の政治
 - 関白藤原頼通の娘には男子が生まれなかったため、藤原氏の娘を母としない後三条天皇が即位し、天皇は摂関家に遠慮することなく、国政の改革に取り組んだ。
 - 4 延久の荘園整理令
 - 1069年、天皇は荘園が公領を圧迫するとして(**荘園整理令**)を出し、(**記録荘園券契所**)(記録所)を設けて証拠書類のそろわない荘園などの停止を命じた。
 - 5 荘園公領制への移行
 - 貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制(**荘園公領制**)に変化した。
- 院政の成立と展開
 - 6 前九年合戦
 - 陸奥北部の豪族安倍氏と国司が対立すると、陸奥守の源頼義が子の義家と東国の武士をひきいて安倍氏と戦い、出羽の清原氏のたすけを得て安倍氏をほろぼした(**前九年合戦**)。

1 / 5

「高校日本史(日探706)」/スライド対応ワークシート

10 準拠テスト例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 観点別評価に対応！知識確認から思考力・判断力・表現力の養成まで

A問題
高校日本史 p.178~190

第12章 近代国家の成立

問 つぎの文章を読んで、空欄に適切な語句を答えよ。【知識・技能】

1 明治維新
中央集権体制をつくるために1869年、新政府は諸藩の藩主に(㉠)を命令した。さらに新政府は体制を一新するため藩制度を全廃する方針を定め、1871年、薩摩・長州・土佐の3藩の兵を御親兵として、(㉡)を断行した。また、中央政府の制度もとのえられ、要職はほとんど薩摩・長州・土佐・肥前の4藩出身の実力者が占められた。ここに(㉢)とよばれる政権の基礎がほぼ固まった。政府は近代的軍隊を創設するため、1873年、山県有朋の主導で国民皆兵をめざす(㉣)を出した。社会制度では新政府はいわゆる四民平等を実現し、1872年には全国統一的な戸籍である(㉤)がつけられた。社会制度の改革で、もっとも打撃を受けたのは士族たちであった。廃刀令が出され、1876年には数百年の家禄にあたる金禄公債証券をあたる、家禄をすべて廃止した(㉥)が断行された。この結果、わずかな額の公債しか支給されなかった下級士族の生活は苦しくなり、軍人や警官などに転身できなかった者のなかには、(㉦)とよばれる不慣れた商売に手を出して失敗する者も多かった。

政府の財政は苦しく、1873年から土地と税制に関して(㉧)に着手し、財政安定をめざした。また、富国強兵・殖産興業をスローガンとして、産業の育成にも積極的に取り組んだ。まず、工部省・内務省を設けて事業を推進するとともに、多くのいわゆる(㉨)をまねいて高額の給金を支払い、技術指導にあたらせた。通信・交通制度では、前島密の建議により、飛脚にかわる官官の(㉩)をつくり、1872年には東京(新橋)・横浜間に官官の(㉪)を開通させ、また電報をととのえた。貨幣制度では、(㉫)を定め、十進法による円・銭・厘を単位とする新硬貨をつくらせ、輸出産業の中心である生糸の生産拡大に力を入れ、群馬県に官官の(㉬)を設けて、フランスの先進技術の導入と工女の養成をおこなった。政府は農業・牧畜の改良もすすみ、とくに北海道の開拓に力を入れた。1869年、蝦夷地を北海道と改称して(㉭)をおき、アメリカの大農場制度や畜産技術の導入をはかった。札幌農学校を開設するとともに、1874年には士族授産の政策もあって屯田兵制度を設け、開拓とともに北方のロシアに対する備えとした。

政府は、積極的に西洋の近代思想や生活様式などを導入した。この風潮は当時、文明開化とよばれた。(㉮)の『学問のすゝめ』は、学がごとく個人が自立し、国家の独立も達成することができることと説き、人びとに広く読まれた。新聞・雑誌による新しい言論活動もさかんになった。森有礼・(㉯)・西岡らの洋学者たちは、1873年に(㉺)を組織し、封建思想の排除と近代思想の普及につとめた。宗教界でも大きな変動がおこった。新政府はそれまでの神仏習合を禁じる(㉻)を出し、これをきっかけに寺院などを破壊する廃仏毀釈が各地でおこった。文明開化の風潮は、東京・横浜などの都市部を中心に急速に広まり、1872年には旧暦を廃して(㉼)を採用した。

新政府は開国和親の方針にそって、諸外国との関係を調整するため欧米に使節を派遣した。使節は条約改正交渉をこころみたりが目的を達するこはできず、欧米の文物・制度を視察して帰国した。近隣諸国との外交では、西郷隆盛・板垣退助らが朝鮮に対して(㉽)をとるなをたがえ、欧米列強から帰国した大久保利通らは国内の改革を優先するべきだとして反対した。その後、1875年に日本が朝鮮半島沿岸に軍艦を派遣して圧力を加えたことから、紛争となった(㉾)がおきた。日本はこの事件を機に、朝鮮に開国

問題ごとに観点別評価項目を表示しているので評価もスムーズ

知識定着の小テストとしても使える

「高校日本史(日探706)」/準拠テスト例

資料を活用した読み解き問題も収録

B問題
詳説日本史 p.229~231

第11章 近世から近代へ

第1問 つぎの資料と会話文を参考に、問いに答えよ。

【資料1】

【資料2】

生徒A：この前の授業でやったグラフについて、教えてくれない？
 生徒B：日本は開港して、本格的に貿易が始まったよね。資料1から、1865年までのグラフをみた時に輸出と輸入はどちらが多かったかわかるかな。
 生徒A：【 X 】だよ。でも、国内におよぼした影響がよくわからないんだよね。
 生徒B：資料2から、輸出品の中心になった【 Y 】ことがわかるよね。あるものが大量輸入されてしまうと、農材には大きな影響が出てしまうね。
 生徒C：それに、【 Z 】が影響して、物価が【 Z 】。これは、あまり効果がなかったけどよね。
 生徒A：まうか、そのために庶民の生活に影響が出てしまったんだね。
 生徒B：そうなんだ、生家事件やイギリス公使館焼打ち事件などが影響の例といえるね。

問1 会話文中の【 X 】～【 Y 】に入る文章の組合せとして、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア X：輸出超過 Y：安値な輸出品の生産は拡大した
 イ X：輸出超過 Y：生糸の生産は拡大した
 ウ X：輸入超過 Y：生糸の生産は拡大した
 エ X：輸入超過 Y：安値な輸出品の生産は拡大した

問2 会話文中の【 Z 】に入る文章として、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア 下がったから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね
 イ 上昇したから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね
 ウ 下がったから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね
 エ 上昇したから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね

問3 会話文中の下線部に関して当時の庶民の生活への影響から、国内でどのような動きがみられたか、会話文を参考に30字程度で述べよ。【思考・判断・表現】

「詳説日本史(日探705)」/準拠テスト例

11 年間指導計画・評価規準例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 年間指導計画に評価の規準も収録

複数教員で担当しても評価規準を揃えられるので安心

12 観点別評価集計表



※こちらのデータは山川出版社ホームページからダウンロードいただけます

授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 観点別評価に対応した評価集計ファイル

「観点別評価集計表.xlsx」利用マニュアル
株式会社 山川出版社

利用マニュアルも収録、はじめての利用でも安心

自動計算で評価を算出、スムーズな観点別評価を実現

弊社HPからダウンロードして今すぐご利用いただけます

ダウンロード

こちらから



- 図版(写真) 487点
- 地図 141点
- グラフ・図表 26点(グラフ8+図10+表8)
- 文字資料 20点
- 二次元コード 30点

新世界史

世探706 B5変型判(230mm×174mm) 410頁 予価886円

[著作者]

- 羽田 正 東京大学特任教授
- 岸本 美緒 お茶の水女子大学名誉教授
- 久保 文明 東京大学名誉教授・防衛大学校長
- 南川 高志 京都大学名誉教授・佛教大学特任教授
- 小田中直樹 東北大学教授
- 勝田 俊輔 東京大学教授
- 千葉 敏之 東京外国語大学教授
- 丹羽 敬 元愛知県立明和高等学校教諭
- 小川 正樹 函館ラ・サール高等学校教頭
- 加藤 修治 武蔵高等学校教諭
- 岸本 次司 元鳥取県立鳥取西高等学校教諭
- 岡本 聡 白陵高等学校教諭

株式会社 山川出版社
(2024年3月現在)

考える歴史の時代に向けて 新しく生まれ変わった『新世界史』

1 現代世界を知るための歴史的視座を養う教科書

- **歴史の流れ**がわかりやすい記述、出来事の**歴史的背景**が理解できるように意識した叙述に努めました。
- 世界史を学ぶうえで**キーとなる概念**や、**現代の諸問題の背景**となる事項について、70を超える「コラム」を設けて、深掘りし、難関大入試の論述対策にも使えるくわしい解説をしています。➡p.94

2 「考える」「理解する」「追究する」教科書

- 400近くの問いを用意しました。各章の冒頭にはその章の**重要事項に関わる問い**を、章末には**まとめとなる問い**を置き、歴史の大きな流れを構造的に意識できるよう工夫しています。
- 本文中にも数多くの問いを設け、生徒が自身で調べ、考え、発見することを通して、**歴史的な考え方**や**課題の追究の仕方**を学べるよう留意しました。➡p.96

3 図版・地図・史資料を読み解く力がつく教科書

- 「**資料から考える**」のコーナーをもうけました。写真や地図、図表で読み解く技能が身につくような発問も付しています。
- 文字資料も20ほど用意し、それぞれに問いを付し、**読み解く視点**を示しました。➡p.98

message



羽田 正

(はねだまさし)

東京大学特任教授

新しい学習指導要領では必修の「歴史総合」と世界史科目の「世界史探究」が設置されました。歴史学習の導入としての新しい科目「歴史総合」にはいくつかの目標があります。なかでも、1. 現代の成り立ちを理解するために過去に問いかけるといふ歴史的な見方や考え方の基本を身に付けること、2. 近現代世界の構造とそこでの日本の位置について学ぶことの2点は特に重要です。これらを学んだ高校生がさらなる「世界史探究」のために手に取るのがこの教科書です。

私は、この教科書がこのような高校生の期待に十分に答えることができるものに仕上がっていると確信しています。その理由をご説明しましょう。

1つは、この教科書がグローバル化をみすえた現代にふさわしい最新の世界史の見方を提示しているからです。執筆者は、専門の時代や地域を越えて学界の最先端の研究状況を互いに確認し合い、「現代における世界史」という観点から今何を教科書に盛り込むべきかについて徹底的に意見を交換しました。そして、複数の執筆者がバラバラにその知見を記すのではなく、相互の叙述を関連させ、全体として世界の過去の動きが総合的に理解できるように工夫しました(➡p.90)。また、世界各地の過去を地域ごとに時間の流れに沿って縦に叙述するとともに、同時期における世界各地の動き、つまり横の関係性や共時性を十分に意識した記述を心がけました。この教科書の本文を通読すれば、世界全体の過去があたかも経糸と緯糸を編み合わせた1枚の織物のようにくっきりと浮かび上がってくるでしょう。

もう1つは、教科書の各所にちりばめられた発問によって大きな学習効果が得られるからです(➡p.97)。これらの問いはすべて「歴史総合」で身に付けた歴史的な見方や考え方をさらに高度化するために作成されています。生徒たちは、解答を準備する過程で、各時代や地域の過去についてさらに深い知識を得るとともに、現代世界を理解するために必要なヒントを手に入れることができるでしょう。各部や章の冒頭と末尾に置かれた問いは、その時代の世界全体の構造や地域社会の特徴、さらには歴史の流れを把握することに大いに役立つはず。最新の世界史の見方を取り入れたこの教科書で学んだ生徒たちが、獲得した歴史の力を使って現代世界で活躍してくれることを期待しています。



岸本美緒

(きしもとみお)

お茶の水大学名誉教授

「何のために世界史を学ぶのか」という問いにはさまざまな答えがあるでしょうが、正面から答えるならば、「私たちが生きているこの世界の成り立ちを理解し、広い視野から物事を判断できるようになるため」ということができるでしょう。本書は、次の時代を担うべき高校生の皆さんの世界史学習の意欲にまっすぐに応え、細かい知識よりも骨太な世界史の流れを、そして今日につながる諸問題の歴史的背景を理解していただくために作成された世界史の教科書です。

本書は、2014年に新しく刊行された『新世界史』の特色を受け継ぎつつ、このたびの「世界史探究」の課題に対応することを目指しています。本書の内容はかなり詳しいと感じられるかもしれませんが、その目的は、多数の人名や事項名の暗記を求めることではなく、さまざまな事象の意味やその間の脈絡をできる限りわかりやすく説明し、理解してもらうことにあります。本書を使用する皆さんが、大事だと思う点を自らの頭で確認し、印をつけたり線をひいたりしながら使っていれば幸いです。

全体の構成は、世界各地の動きの共時性を念頭に置いて、大きく五部に分けてあります(➡p.92)。各部の冒頭では、世界全体を見渡した問題の提示と解説・設問をおこない、各部の重要問題を、諸地域相互の関連と比較のもとに整理して把握できるように工夫しました。

そのほか、本書の大きな特色は、世界史を学ぶ上でポイントとなる重要な事項や概念についてのより深い理解をめざし、コラムを設けてかなり詳しい説明をおこなっている点です(➡p.95)。これらの事項は、現代の世界のあり方にも深くかかわる問題を含んでいます。少し難しいと思われる内容でも、地理や日本史、政治・経済など、他の科目とも関連させつつ学習していただくことによって、日常接するニュースの背景や、現在当然だと思われる事象の成り立ちが歴史的な奥行きをもって把握でき、立体的な世界像の形成に寄与し得るものと期待しています。

以上、「考える」「理解する」世界史教科書という点に重点をおいた本書の意図をご了解いただき、その特色を活用して授業・学習をおこなっていただくことを願っています。

目次と配当時間例

第1部は地球と人類の関係史を考察し、また日常と歴史を結びつけて考察することを通じて、みずからの立ち位置を確認させ、歴史の学習を始める導入にあたります。

全体を5つの部に分け、立体的な世界史像を提供します。

I 世界史へのまなざし 8

- 第1章 人類の歴史と私たち 8
- 1 地球環境からみる人類の歴史 9
 - 2 日常生活からみる世界の歴史 13

第II部は古代文明が誕生してから、世界各地に国家や帝国が生まれる時代を扱います。

II 諸地域の歴史的特質の形成 16

- 第2章 古代文明の特質 18
- 1 文明の誕生 20
 - 2 古代オリエント 22
 - 3 古代の南アジア・東南アジア・オセアニア 26
 - 4 古代の東アジア 30
 - 5 アフリカと南北アメリカ 34

2章では、世界各地の古代文明が形成される頃までの歴史を1つの章で扱います。アフリカや南北アメリカについても紹介しています。

3～6章では、およそ10世紀あたりまでの諸地域の歴史的特質を紹介します。

第III部は地域世界が経済的、文化的に結びつきを強めていく10～18世紀あたりを扱います。

- 第3章 アジア諸地域の国家と社会 37
- 1 中国帝政国家の形成 38
 - 2 北方ユーラシアの動向 44
 - 3 分裂と融合の時代 47
 - 4 隋唐帝国と東アジア 52
 - 5 南アジア・東南アジア 57

- 第4章 西アジアの帝国と古代ギリシア 63
- 1 古代西アジアの帝国 64
 - 2 古代ギリシア 67
 - 3 ヘレニズム時代 72

- 第5章 古代ローマ 75
- 1 ローマの発展と帝国形成 76
 - 2 ローマ帝国の繁栄とキリスト教 79
 - 3 ローマ帝国の衰退 84

- 第6章 ヨーロッパの形成とイスラーム教の誕生 87
- 1 古代から中世へ 88
 - 2 カール大帝とヨーロッパ 92
 - 3 イスラーム教の誕生とカリフの政権 97

イスラームは、その誕生と広がりが別の部となりましたが、第II部の最後と第III部の最初に扱っているため、連続的に教えることができます。

III 諸地域の交流・再編 104

- 第7章 結びつくユーラシアの諸地域 106
- 1 イスラーム教とムスリム政権の広がり 107
 - 2 宋と周辺諸国 113
 - 3 モンゴル帝国 120

- 第8章 キリスト教ヨーロッパの成熟と交流 125
- 1 教皇権の確立と十字軍 126
 - 2 ヨーロッパの膨張と成熟 133
 - 3 ヨーロッパの危機と再生 142

- 第9章 交易の進展と東アジア・東南アジア 151
- 1 東西交流の動向 152
 - 2 明代の朝貢世界 156
 - 3 大交易時代の東アジア・東南アジア 160

7・8章がいわゆる「中世」、9章が「大航海時代」を前に繁栄するアジアです。

- 第10章 アジア諸地域の再編 165
- 1 オスマン朝 166
 - 2 サファヴィー朝とムガル朝 170
 - 3 清朝支配の拡大 175
 - 4 清朝の近隣諸地域 180

- 第11章 ヨーロッパの成長と世界の一体化 183
- 1 ヨーロッパ人の海洋進出 184
 - 2 世界の一体化とその進展 188
 - 3 近世の始まり 192
 - 4 宗教改革 197
 - 5 主権国家体制の成立 201
 - 6 オランダの覇権から英・仏の抗争へ 206
 - 7 北・東ヨーロッパの動向 212
 - 8 近世ヨーロッパの思想と社会 216

10・11章がいわゆる「近世」を扱います。

第IV部は欧米諸国が新しい政治・経済・社会の仕組みを構築し他地域に進出する様子を描き、この攻勢に対して対応や抵抗を試みるアジア・アフリカ各地の状況が語られます。世界各地の動きが密接に連動している点にも重点が置かれています。

IV 諸地域の結合・変容 220

- 第12章 国民国家と近代民主主義社会の形成 222
- 1 商業社会と産業革命 223
 - 2 アメリカ革命 226
 - 3 フランス革命とナポレオン 230
 - 4 反動と改革 236
 - 5 1848年の諸革命 241

- 第15章 帝国主義と世界 283
- 1 現代社会の特質 284
 - 2 帝国主義と列強 286
 - 3 アジアの民族運動 293

- 第13章 新国家の建設と世界市場の形成 245
- 1 アメリカ合衆国の発展 246
 - 2 ラテンアメリカとカナダ・オーストラリア・ニュージーランド 251
 - 3 イギリスとフランスの繁栄 255
 - 4 クリミア戦争とヨーロッパの再編 258

- 第16章 第一次世界大戦 303
- 1 第一次世界大戦とロシア革命 304
 - 2 ヴェルサイユ体制と欧米諸国 310
 - 3 アジアの動向 316

- 第14章 アジア諸地域の動揺 265
- 1 西アジアの動揺 266
 - 2 南アジア・東南アジアの動揺 271
 - 3 東アジアの動揺 276

- 第17章 第二次世界大戦と諸地域の変容 325
- 1 世界恐慌とファシズム 326
 - 2 第二次世界大戦 336
 - 3 戦後の世界と冷戦 341
 - 4 アジアにおける冷戦 345
 - 5 冷戦の展開 351

第V部は20世紀後半から今日に至る世界の動きを年代ごとに描いています。

「近代」の流れは今までと大きく変わりませんが、社会の変革の背景や原因、結果や影響、それぞれの関連性を重視して記述し、発問を設けています。

V 地球世界の課題 357

- 第18章 第三世界の形成と世界経済の動揺 358
- 1 第三世界自立の模索 359
 - 2 世界経済の動揺と第三世界の動向 364

- 第19章 今日の世界 369
- 1 紛争解決への取り組みと課題 370
 - 2 経済のグローバル化と格差の是正 377
 - 3 科学技術の高度化と知識基盤社会 387

18・19章は現代世界の課題に直結する歴史です。国際紛争・経済格差・科学技術の進展・文化の変容など、テーマ別に探究できる記述となっています。

課題学習 地球世界の課題の探究 392

索引 394

表見返し 世界の自然・世界の気候区分
裏見返し 現代の世界

コラム		
民族集団「漢族」の形成 33	琉球とマラッカ 158	三角貿易の背景 277
華夷思想 39	北虜南倭 161	帝国主義の時代 292
儒学と皇帝政治 42	デヴシルメとエニチェリ 168	アジアの民族運動と日本 302
司馬遷と「史記」 43	イスファハーンは世界の半分 171	第一次世界大戦の歴史的意味 309
遊牧国家の特質 46	ヨーロッパからみた中国 179	国際平和の思想と国際連盟 309
朝貢体制 51	近世日本の対外関係 181	ロシア革命とソ連の体制問題 315
仏教の展開 57	生物交換と「伝統文化」 188	パレスチナ問題の起源 317
インド洋海域世界 59	近世ヨーロッパ国家と王位継承 194	第一次世界大戦後のアジアの民族運動 320
ヒンドゥー教 60	近世ヨーロッパと戦争 205	日本の植民地統治 324
軍事大国スバルタ 70	啓蒙の諸相 217	ヒトラーとナチ党 329
ヘレニズム 73	エネルギー革命 225	歴史の教訓 335
ローマ市民権と「ローマ人」 81	アメリカ合衆国建国の特徴 229	日米開戦 338
ローマ帝国社会の変容 85	複合革命 232	大戦中の戦局と外交 340
ローマ教皇 91	大西洋革命 233	冷戦 343
イスラーム教 97	国民国家とナショナリズム 239	大戦中の戦局と外交 340
スンナ派とシーア派 101	経済学の時代 240	冷戦 343
イスラーム教と男女平等 112	選挙制度 244	日本の敗北と占領 347
十字軍 130	白人入植による新社会 249	ハンガリーの悲劇 355
荘園制と村落 132	アメリカ合衆国の特質 250	「ニクソン・ショック」とニクソン外交 365
俗語とラテン語 135	移民の流れ 254	核軍縮 371
ユダヤ人 141	植民地主義 257	黒人大統領の登場 376
ルネサンス 150	ロシア「大改革」 259	2つの和解の試み 379
ソグド人 155	サン＝シモン主義 264	人権と人権外交 379
	アフガニーとパン＝イスラーム主義 270	イランをめぐる国際情勢 381
	インド社会とイギリスの支配 273	中国と南シナ海・東シナ海 386

70を超える、歴史を深掘りするコラムを用意しています！

2. 「考える」「理解する」「追究する」教科書—各章の学習の流れ

深く追究する問いが重層的に思考力を磨く

この教科書では、世界の歴史を4つの大きな枠組みで分け、第II部から第V部として、その展開を紹介いたします。各部の扉は、その時代の展開にかかわる出来事の意味や意義、特色を多面的・多角的に考察するためのエピローグとなっています。

第II部 諸地域の歴史的特質の形成

ローマ帝国の先駆者として知られるエトルリア人が1世紀末に公刊した作品『アグリコラ』には、帝国の属国となったギリシア島の属州と、東部のギリシアの属州が記されている。イタリアから遠く離れた領土でのローマ人の活動をみてみよう。

この地方の人々は、てんでに散らばって住み、粗野な生活を営んでいた。平和と恵みになじませよう、あるいは個人的に服従しあるいは公的に援助したりして、神殿や市場や家を建てさせた。…酋長の子弟に教育料を学ばせ、賢性に育ませさせた。…その結果、いままでもローマ人の言葉・ラテン語を話し、ローマの法律を熱心に学んでいる。こんな風にしてローマの服従を尊重されるようになり市民権が流行した。そして次第に諸道にそれだし憲法と人を講ずるもの、たとえば道徳性、法律、優美な饗宴に耽った。これを何と知らない居住民は、文明開化と呼んでいたが、じつは奴隷化を示す一つの特色ではなかった。(『アグリコラ』)

資料からの問い
● 資料からローマ人が生み出した文化が何かをさがし出し、その性格を考えてみよう。
● ローマ帝国の支配は被征服地にとどのような影響をもたらしただろうか。属州となっていた諸地域がローマ帝国にどうなったか、考えてみよう。

第II部では、古代において諸地域がそれぞれどのような社会を形成し、そこでどのような文化・宗教・思想が育まれたかを考えます。扉ではローマ帝国の資料を取り上げ、ローマが生み出した文化や、帝国として広がることで他地域に及ぼした影響を読み取り、考えることができます。

第III部では、諸地域がどのように結合し変容するかを考えます。扉ではマルコ=ポーロの資料をとりあげ、交易の拡大、都市の発達、文化・思想の伝播などを読み取り、考えることができます。

第IV部では、人々の国際的な移動や貿易の広がりなどにより、いかに諸地域が統合され、変容したかを考えます。扉では福沢諭吉の『西洋事情』を資料として取り上げ、近代化の理念とその背景となる歴史を読み取り、考えることができます。

第III部 諸地域の交流・再編

第II部では、人類最古の文明の誕生から始めて、古代の諸地域の発展と国家形成の過程を学ぶ。古代において、人類は実に多くのものを生み出した。人々は今日の政治や社会の基礎的な仕組みやそれに関する考え方をつくり出し、現代世界でも多数の人々の信仰を集める仏教、儒教、キリスト教なども古代に誕生した。イスラム教もこうした古代の宗教の影響を受けて、7世紀に成立したのである。

古代に残した人類史上もっとも重要な事績の1つは、「国家」の創出である。人類は、前3千年紀以降、現代生活の始原といつよい都市的な生活を世界各地で生み出し、そうした都市から国家が誕生した。人類最初の国家は、おおむね都市国家の形態をとったのである。その後、ほとんどの地域では都市国家はより大きな国家へと統合されていき、さらにそれらの国家も強大な軍事力をもつ国家に組み込まれた。広大な地域を領有し人々の集団を多数支配する「帝国」の出現である。

古代に現れた帝国のうち、地中海周辺地域を中心にアルプス以北のヨーロッパ内陸部や中東地域まで支配したローマ帝国と、東アジアに統一国家を現出させた秦漢帝国とは、その広い領土を中央集権的な支配のもとにおいただけでなく、法にもとづく統治や官僚、そして宗教を背景にした支配の理念まで備えた点で特記に値し、後世にもその価値が継承された。

帝国は悲惨な戦いをもたらし、後世にもその価値が継承されたが、

13世紀後半、ユーラシアを陸路・海路でめぐり大旅行をおこなった、モンゴルの元朝に17年住んだヴェネツィア出身の商人マルコ=ポーロの有名な『世界の記述』(『東方見聞録』)をみてみよう。

資料からの問い
● モンゴル帝国時代に、マルコ=ポーロをはじめとするヨーロッパ人が東方への貿易を活性化させたのはなぜか、考えてみよう。
● 15世紀のヨーロッパ人は、経済的・文化的に観察していたアジアとどのような手段で交易をおこなったか、考えてみよう。

10000 7000 5000 3000 2000 1000 紀元前 紀元後

10000 7000 5000 3000 2000 1000 紀元前 紀元後

部扉

章ごとの学習の流れ

各章の扉に、章の内容の導入文とともに、その章の内容を問題意識をもって読み進めていくための問いを用意しました。生徒は、その問いに基づき仮説を立てながら、「何を学ぶか」「何に注目すべきか」を知ることができます。

1 古代西アジアの帝国

古代西アジアの統一

メソポタミア北部からおこったアッカド人の武器や騎馬兵を用いて前となり、前7世紀中頃までにエジプトを含む広い地域を支配した(アッシリア帝国)。王は政治・軍事・宗教にわたる強大な広大な領土を統治する行政組織を整え、駅伝制も設けた。強制的移住政策は服属する人々の反乱をまねき、前612年帝国領内にはユダヤ、新バビロニア、メディア、エジプト(4王国)が分立した。

資料からの問い
● アッシリア帝国、アカイメネス朝、パルティア、ササン朝の領域・政体・文化を比較し、共通点と相違点を整理してみよう。

2 古代ギリシア

ポリスの成立と発展

ミケーネ文明崩壊後、ギリシア人の居住地域では同時代の文字の記録がない暗黒時代と呼ばれる時期が約400年間続いた。この間にギリシアは鉄器時代に移行し、前8世紀にポリスと呼ばれる共同体が生まれた。ポリスは、人々が丘(アクロポリス)の上に守護神をまつる神殿を建て、その麓に寄り集まって居

資料からの問い
● ギリシアに成立したポリスと中国に成立した都市(邑)を比較した時、どのような共通点と相違点があるだろうか。

3 ヘレニズム時代

アレクサンドロス大王の東方遠征

ポリス世界が混迷を深めている頃、ギリシア北方のマケドニア王国が台頭し、国王フィリップ2世は軍事力を強化して、勢力を拡大した。マケドニアの進出に対するギリシア内での対応はまちまち。また傭兵に頼って国防意識の薄れた市民たちはみずからマケドニアに対抗する行動に出なかった。前338年、マケドニア軍がギリシアに侵襲してようやくアテネはテーバイなどのポリスと連合し、マケドニア軍に戦いを挑んだが、カイロネアの戦いで敗れた。翌年、フィリップ2世はギリシア諸ポリスとコリント同盟(ヘラス同盟)を結成した。これにより、ギリシアの諸ポリスは自由と自治を維持したが、

資料からの問い
● マケドニア人はギリシア人の一派であるが、ポリスを形成せず、王国を建てた。
● アテネでは、非論者デモステネス(前384-前322)がマケドニアの脅威にギリシア諸ポリスが結束して抗するよう

章末

章末の問い

- ① アテネで、直接民主政が発展した経緯についてまとめてみよう。
- ② ペルシア戦争後、ギリシアのポリス社会は大きく変化していった。その理由は何だろう。
- ③ ギリシア文化が後世に与えた影響でもっとも重要な要素は何だろう。

4 西アジアの帝国と古代ギリシア

多くの民族が興亡した西アジアでは、周辺民族を服従させる帝国が出現した。しかし、帝国の統治には、絶対的な王の権力や強力な軍事力だけでなく、様々な工夫が必要であった。アカイメネス朝は整備された組織、交通路などによりインダス川からエーゲ海におよぶ史上例のない巨大帝国を出現させた。一方、エーゲ海周辺ではギリシア人の移動と定着の結果、ポリスと呼ばれる都市国家が形成された。また、ギリシア人は植民活動や交易を通じて地中海周辺地域と交流し、高度な文化を発展させた。ペロポネソス戦争以降ポリス社会が変質するなかで、アレクサンドロス大王により空前の大帝国が建設され、ギリシアの文化と西アジアの文化が融合し、新しい文化が生み出された。

資料からの問い
● 西アジアに大帝国を建設したアカイメネス朝は、どのように統治し、後世にいかなる影響を与えたのだろうか。
● ギリシアのポリス社会では、どのように政治・経済・文化が発展していったのだろうか。
● ヘレニズム時代の政治や文化について、それ以前のギリシアの政治や文化とどのような違いがあると考えられるだろうか。

本文では、各所に着眼点となる問いを示しています。「相違点を整理してみよう」「原因は何だろう」など、考察の方向性も指し、思考を促す問いとなっています。

章の最後に「探究」の問いを用意しました。「まとめてみよう」「理由を考えよう」といった問いでは、生徒が主体的に学習に取り組むことができます。「後世に与えた影響は何だろう」といった問いでは、生徒が現代社会に結びつけて考察することができます。

3. 図版・地図・史資料を読み解く力がつく教科書

豊富な図版

480点ほどの写真、170点ほどの地図・図表を付し、「資料から考える」のコーナーを設けることで、歴史を視覚的に理解できるよう留意しました。



アズハル=モスク エジプトを征服したファーティマ朝は新都カイロを造営し、その中心にアズハル=モスクを建てた。972年に併設されたマドラサ(学院)はイスラム最古の高等教育機関で、現在ではスンナ派教学の最高峰である。



10世紀のイスラム世界

段が限られていた当時、ウマイヤ朝やアッバース朝の領域は、一人の君主が統治するには広すぎた。また地方政権が誕生した地域は、もともと地理的・文化的にひとまとまりの単位であったので、分権化が進むのは自然な流れであった。アッバース朝の時代になると、その領域全体で、アラビア語が行政のための言語として使用されるようになり、人々が日常的に使う言語も徐々にアラビア語にかわっていった。現在、アラビア語を話す人々が西アジアから北アフリカに広く分布しているのはその結果である。一方、サーマーン朝の領域である中央アジアやイラン高原東部では、9世紀末頃から住民の日常語であるペルシア語が、行政の言語としても用いられはじめた。各地でアラビア語の重要性が増す一方で、このように、一部の地方では言語の面でも自立がみられるようになった。

地方政権の1つとしてカスピ海南岸に成立したブワイフ朝は、シーア派の政権であり、アッバース朝カリフの命に従わなかった。ブワイフ朝の君主は946年にバグダードを攻略したが、カリフを廃さず、その権威を利用して大アミール(大將軍)となり、政治・軍事の実権を握った。

ブワイフ朝と同じ頃にチュニジアにおこったシーア派のファーティマ朝は、969年にエジプトを征服し、新都カイロを建設した。この王朝の君主は、シーア派の最高指導者自身を認め、カリフを名乗って、アッバース朝の権威に挑戦した。

このように、10世紀から11世紀にかけては、イラン高原から北アフリカにかけての地域で、



102 第6章 ヨーロッパの形成とイスラム教の誕生

カラーユニバーサルデザイン

地図・グラフの作成においては、カラーユニバーサルデザインに則り、色覚特性のある生徒にも読みやすい配色や線種を使用しました。

朝の都コルドバのモスク コルドバのモスク(メスキータ)とよばれるはイスラム教のモスクであったが、現在はキリスト教の大聖堂になっている。柱は他の建物からもってきたため寸法が合わず、天井との隙間をうめる工夫として、独特の二重アーチが採用された。

文字資料

文字資料は20ほど用意しています。それぞれに問いを付し、読み解く視点を示すことで、資料を読み解く技能が習熟するよう工夫しました。

資料から考える

Q 資料①のなかみられる「ワクフ」とはどのような制度のことだろうか。

Q 資料②について、タージ=マハルの維持においてワクフはどのように運用されているか。

①イブン=バットゥータ「大旅行記」(1326年)

ダマスカスにおけるワクフは、その種類において、またその支出額においても算定出来ないほどの数である。[例えば]その1つに、メッカ巡礼に行けない人たちのために[特別に設定された]、幾つものワクフがある。これは、彼らのなかの巡礼に行こうとする者に対して、十分な[旅行]費用をワクフから提供するものである。また娘たちの結婚準備のために用意されたワクフがある。これは、娘たちに十分な準備をさせられない彼らの家族のために提供されるワクフである。さらに捕虜となった者を保釈するためのワクフや、旅人たちに食べ物、衣類や彼らの国へ[戻るため]の旅の必需品を提供するワクフがある。道路を整備・舗装するためのワクフもあるが、これは、ダマスカスの路地道はすべてその両側に、歩行者たちが通る舗装部分があるためである。一方、駄獣に乗った人たちは、その中間の道を通る。さらに、それら以外にも慈善事業を目的とし[て設定された]幾つものワクフがある。(イブン=ジュザイ編、家島彦一訳注「大旅行記1」より、一部改変)

②イナヤト=ハーン「シャージャハーン=ナーマ」(1658年)

燦然たる墓廟(タージ=マハル)が[完成に要した]12年のあいだに、その費用として500万ルビーを費やしたことは紛れもないことである。また墓廟の周辺には数々の広場や宿泊所、商店が設けられ、宿泊所の背後に多くの食品製造工房も設立された。…かくしてこの燦然たる墓廟に設けられたワクフ制度によって、もし修繕が必要な場合にはこの寄進財産の収益をもってその支出に充当し、残余は[墓廟関係の]年俸受給者および月俸受給者に支給されるとともに、墓廟に仕える人々やその他困窮者たちのための必要な支出に充てられる。剰余が生ずれば、この墓廟の豊かな財庫に繰り入れられる。(歴史学研究会編「世界史史料2」より、一部改変)

多角的視点

宋代の開封の様子を、回想録や絵画、地図など多様な史資料から多角的にとらえ、当時の社会を考察できます。

シーア派の政権があいついで成立した。しかし、シーア派に改宗することはほとんどなく、ムスリム派に属していた。

イベリア半島の後ウマイヤ朝は、ファーティマ朝だったので、10世紀後半には、3つのカリフ政権が誕生した当初は、指導者のムスリムが従っていたが、10世紀頃にはこ

章末の問い

- ① ローマ帝国が支配していた地中海世界は、8世紀末までであった。その経緯を整理しつつ、それぞれの文明圏が考えてみよう。
- ② カール大帝の皇帝戴冠は、中世ヨーロッパ世界成立のてみよう。
- ③ ムスリムの政権のもとで、アラブ人以外の被征服民のか、整理してみよう。
- ④ カリフの地位と役割は、時代とともにどのように変化

二次元コードの活用

探究活動のために読み解くべき図版、参考動画を中心に、二次元コードを活用した資料を30個設けました。教科書の写真を拡大したり、他の場面を見たりすることができます。

資料から考える 「清明上河図」と宋代の庶民生活



「清明上河図」北宋の都開封の繁栄を描いたとされる絵巻物。張敦彦作。図は城内の商店街で、買物客・行業客であふれている。(貞子玉根本)



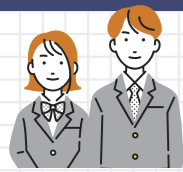
開封の都市計画図(想定)
(伊原宏「中国開封の生活と歳時」をもとに作成)

Q どのような人々や動物がいて、どのような店が立ち並んでいるだろう。

孟元老「東京夢華錄」
(街路には)それぞれ茶店や居酒屋、芝居小屋や飲食店がある。市中の商人の家では、食事ごとにさうじょう飲食店から料理を取って間に合わせ、家には惣菜を用意しない者が多い。…繁華な場所になると、朝まで店を閉めない。普通の場末の辺鄙なところでも、午前0時頃になると、茶瓶を下げたお茶売りが出てくる。というのは、都の人は公私の仕事が忙しくて、夜更けてやっと帰宅するからである。(久義高・梅原都訳注「東京夢華錄」)

Q 「東京夢華錄」は南宋の人、孟元老が、北宋の開封の様子を記した回想録である。宋代の開封と唐代の長安での庶民生活の違いをあげてみよう。

料や薬品類が中国へ輸出された。広州・泉州・明州(寧波)などの港には市舶司がおかれ、積荷検査や課税など海上貿易を管理した。



歴史総合 補助教材

教科書に準拠した
生徒用教材をご紹介します

歴史総合 近代から現代へ ノート

歴総
707

B5判/176頁+解答16頁/2色刷/定価880円(10%税込)/ISBN978-4-634-05806-4

Point

思考のベースとなる知識を確認、予習・復習に最適
読み取りや思考を重視した図版・史料問題も掲載

教科書の叙述
に沿って前後
関係をわかり
やすく整理

第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立

5 19世紀のアメリカ大陸①

【決断ポイント】
a メキシコ国境(メキシコ)に人種差別の先住民の存在が、黒い肌の先住民の存在を人種差別の理由にされた。先住民の存在は白人の植民地化を妨げた。
b アメリカは、先住民の存在を白人の植民地化を妨げた理由にされた。
c ヨーロッパ移民は、先住民の存在を白人の植民地化を妨げた理由にされた。
d ヨーロッパ移民は、先住民の存在を白人の植民地化を妨げた理由にされた。
e ヨーロッパ移民は、先住民の存在を白人の植民地化を妨げた理由にされた。

【アメリカ大陸の発見】
1492年、コロンブスが大西洋を横断してアメリカ大陸を発見した。この発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。
2 1492年の発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。
3 1492年の発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。

【アメリカ大陸の発見】
1492年、コロンブスが大西洋を横断してアメリカ大陸を発見した。この発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。
2 1492年の発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。
3 1492年の発見は、ヨーロッパとアメリカ大陸の間に新たな貿易ルートを開き、両者の関係を大きく変えた。



教科書中の図版・史料を利用した、思考問題も収録

歴史総合 要点 チェック

歴史総合 要点チェック

歴総
707

B5判/80頁+解答8頁/2色刷/定価660円(10%税込)/ISBN978-4-634-05803-3

Point

「歴史総合」の学習における思考・判断・表現などのベースとなる基礎知識を確認
要約した短文を読んで流れを確認し、空欄を埋めて用語をチェック

教科書を要約した短文で構成
読んで、確認したらチェック

第5章 第一次世界大戦と大衆社会

1 第一次世界大戦とロシア革命

【16カ国連合の対立】
1 20世紀初頭、列強の二極化が進み、協商国と同盟国の対立が深まった。
2 1914年、セルビアの若者ガヴリノ・プリンスがオーストリア皇太子の暗殺を企てた。この暗殺は、第一次世界大戦の引き金となった。
3 1914年6月、オーストリアの皇太子がセルビアに暗殺されたのをきっかけにオーストリアがセルビアに宣戦を布告した。ドイツがオーストリアを支援すると、フランスやイギリスもつづき参戦した。この結果、第一次世界大戦が勃発した。

【第一次世界大戦の経緯】
1 1914年6月、オーストリアの皇太子がセルビアに暗殺されたのをきっかけにオーストリアがセルビアに宣戦を布告した。ドイツがオーストリアを支援すると、フランスやイギリスもつづき参戦した。この結果、第一次世界大戦が勃発した。
2 1914年6月、オーストリアの皇太子がセルビアに暗殺されたのをきっかけにオーストリアがセルビアに宣戦を布告した。ドイツがオーストリアを支援すると、フランスやイギリスもつづき参戦した。この結果、第一次世界大戦が勃発した。
3 1914年6月、オーストリアの皇太子がセルビアに暗殺されたのをきっかけにオーストリアがセルビアに宣戦を布告した。ドイツがオーストリアを支援すると、フランスやイギリスもつづき参戦した。この結果、第一次世界大戦が勃発した。

重要な用語は穴埋め問題に



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノート

歴総
708

B5判/136頁+解答32頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-05807-1

Point

教科書の「問い」と「テーマへのアプローチ」を掲載し、解答欄は各所に配置
本文の内容を簡潔に整理し、重要用語は穴埋め問題に

教科書の導入の
問いと解答欄を
掲載

第3章 産業革命

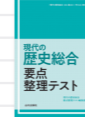
3 産業革命

【産業革命の始まり】
17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
2 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
3 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。

【産業革命の進展】
17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
2 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
3 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。

【産業革命の波及】
17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
2 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。
3 17世紀後半から18世紀初頭にかけてイギリスで、工業革命が起きた。

「テーマ全体の問い」は授業
の最後に取り組みめるよう、
末尾に解答欄を掲載



現代の歴史総合 要点整理テスト

歴総
708

B5判/96頁+解答12頁/2色刷/定価660円(10%税込)/ISBN978-4-634-05811-8

Point

教科書を要約した短文で構成
教科書の単元に沿って各テーマの基礎知識を抑え、歴史的考察力を養う授業につなげます

第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界と日本の関係

1 貿易が結んだ世界と日本

【アジア域内貿易とヨーロッパ】
1 アジア域内貿易は、古くから(1)商人や(2)商人などがおこなってきた。
2 アジア域内貿易では、(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)・(9)・(10)・(11)・(12)・(13)・(14)・(15)・(16)・(17)・(18)・(19)・(20)・(21)・(22)・(23)・(24)・(25)・(26)・(27)・(28)・(29)・(30)・(31)・(32)・(33)・(34)・(35)・(36)・(37)・(38)・(39)・(40)・(41)・(42)・(43)・(44)・(45)・(46)・(47)・(48)・(49)・(50)・(51)・(52)・(53)・(54)・(55)・(56)・(57)・(58)・(59)・(60)・(61)・(62)・(63)・(64)・(65)・(66)・(67)・(68)・(69)・(70)・(71)・(72)・(73)・(74)・(75)・(76)・(77)・(78)・(79)・(80)・(81)・(82)・(83)・(84)・(85)・(86)・(87)・(88)・(89)・(90)・(91)・(92)・(93)・(94)・(95)・(96)・(97)・(98)・(99)・(100)・(101)・(102)・(103)・(104)・(105)・(106)・(107)・(108)・(109)・(110)・(111)・(112)・(113)・(114)・(115)・(116)・(117)・(118)・(119)・(120)・(121)・(122)・(123)・(124)・(125)・(126)・(127)・(128)・(129)・(130)・(131)・(132)・(133)・(134)・(135)・(136)・(137)・(138)・(139)・(140)・(141)・(142)・(143)・(144)・(145)・(146)・(147)・(148)・(149)・(150)・(151)・(152)・(153)・(154)・(155)・(156)・(157)・(158)・(159)・(160)・(161)・(162)・(163)・(164)・(165)・(166)・(167)・(168)・(169)・(170)・(171)・(172)・(173)・(174)・(175)・(176)・(177)・(178)・(179)・(180)・(181)・(182)・(183)・(184)・(185)・(186)・(187)・(188)・(189)・(190)・(191)・(192)・(193)・(194)・(195)・(196)・(197)・(198)・(199)・(200)・(201)・(202)・(203)・(204)・(205)・(206)・(207)・(208)・(209)・(210)・(211)・(212)・(213)・(214)・(215)・(216)・(217)・(218)・(219)・(220)・(221)・(222)・(223)・(224)・(225)・(226)・(227)・(228)・(229)・(230)・(231)・(232)・(233)・(234)・(235)・(236)・(237)・(238)・(239)・(240)・(241)・(242)・(243)・(244)・(245)・(246)・(247)・(248)・(249)・(250)・(251)・(252)・(253)・(254)・(255)・(256)・(257)・(258)・(259)・(260)・(261)・(262)・(263)・(264)・(265)・(266)・(267)・(268)・(269)・(270)・(271)・(272)・(273)・(274)・(275)・(276)・(277)・(278)・(279)・(280)・(281)・(282)・(283)・(284)・(285)・(286)・(287)・(288)・(289)・(290)・(291)・(292)・(293)・(294)・(295)・(296)・(297)・(298)・(299)・(300)・(301)・(302)・(303)・(304)・(305)・(306)・(307)・(308)・(309)・(310)・(311)・(312)・(313)・(314)・(315)・(316)・(317)・(318)・(319)・(320)・(321)・(322)・(323)・(324)・(325)・(326)・(327)・(328)・(329)・(330)・(331)・(332)・(333)・(334)・(335)・(336)・(337)・(338)・(339)・(340)・(341)・(342)・(343)・(344)・(345)・(346)・(347)・(348)・(349)・(350)・(351)・(352)・(353)・(354)・(355)・(356)・(357)・(358)・(359)・(360)・(361)・(362)・(363)・(364)・(365)・(366)・(367)・(368)・(369)・(370)・(371)・(372)・(373)・(374)・(375)・(376)・(377)・(378)・(379)・(380)・(381)・(382)・(383)・(384)・(385)・(386)・(387)・(388)・(389)・(390)・(391)・(392)・(393)・(394)・(395)・(396)・(397)・(398)・(399)・(400)・(401)・(402)・(403)・(404)・(405)・(406)・(407)・(408)・(409)・(410)・(411)・(412)・(413)・(414)・(415)・(416)・(417)・(418)・(419)・(420)・(421)・(422)・(423)・(424)・(425)・(426)・(427)・(428)・(429)・(430)・(431)・(432)・(433)・(434)・(435)・(436)・(437)・(438)・(439)・(440)・(441)・(442)・(443)・(444)・(445)・(446)・(447)・(448)・(449)・(450)・(451)・(452)・(453)・(454)・(455)・(456)・(457)・(458)・(459)・(460)・(461)・(462)・(463)・(464)・(465)・(466)・(467)・(468)・(469)・(470)・(471)・(472)・(473)・(474)・(475)・(476)・(477)・(478)・(479)・(480)・(481)・(482)・(483)・(484)・(485)・(486)・(487)・(488)・(489)・(490)・(491)・(492)・(493)・(494)・(495)・(496)・(497)・(498)・(499)・(500)・(501)・(502)・(503)・(504)・(505)・(506)・(507)・(508)・(509)・(510)・(511)・(512)・(513)・(514)・(515)・(516)・(517)・(518)・(519)・(520)・(521)・(522)・(523)・(524)・(525)・(526)・(527)・(528)・(529)・(530)・(531)・(532)・(533)・(534)・(535)・(536)・(537)・(538)・(539)・(540)・(541)・(542)・(543)・(544)・(545)・(546)・(547)・(548)・(549)・(550)・(551)・(552)・(553)・(554)・(555)・(556)・(557)・(558)・(559)・(560)・(561)・(562)・(563)・(564)・(565)・(566)・(567)・(568)・(569)・(570)・(571)・(572)・(573)・(574)・(575)・(576)・(577)・(578)・(579)・(580)・(581)・(582)・(583)・(584)・(585)・(586)・(587)・(588)・(589)・(590)・(591)・(592)・(593)・(594)・(595)・(596)・(597)・(598)・(599)・(600)・(601)・(602)・(603)・(604)・(605)・(606)・(607)・(608)・(609)・(610)・(611)・(612)・(613)・(614)・(615)・(616)・(617)・(618)・(619)・(620)・(621)・(622)・(623)・(624)・(625)・(626)・(627)・(628)・(629)・(630)・(631)・(632)・(633)・(634)・(635)・(636)・(637)・(638)・(639)・(640)・(641)・(642)・(643)・(644)・(645)・(646)・(647)・(648)・(649)・(650)・(651)・(652)・(653)・(654)・(655)・(656)・(657)・(658)・(659)・(660)・(661)・(662)・(663)・(664)・(665)・(666)・(667)・(668)・(669)・(670)・(671)・(672)・(673)・(674)・(675)・(676)・(677)・(678)・(679)・(680)・(681)・(682)・(683)・(684)・(685)・(686)・(687)・(688)・(689)・(690)・(691)・(692)・(693)・(694)・(695)・(696)・(697)・(698)・(699)・(700)・(701)・(702)・(703)・(704)・(705)・(706)・(707)・(708)・(709)・(710)・(711)・(712)・(713)・(714)・(715)・(716)・(717)・(718)・(719)・(720)・(721)・(722)・(723)・(724)・(725)・(726)・(727)・(728)・(729)・(730)・(731)・(732)・(733)・(734)・(735)・(736)・(737)・(738)・(739)・(740)・(741)・(742)・(743)・(744)・(745)・(746)・(747)・(748)・(749)・(750)・(751)・(752)・(753)・(754)・(755)・(756)・(757)・(758)・(759)・(760)・(761)・(762)・(763)・(764)・(765)・(766)・(767)・(768)・(769)・(770)・(771)・(772)・(773)・(774)・(775)・(776)・(777)・(778)・(779)・(780)・(781)・(782)・(783)・(784)・(785)・(786)・(787)・(788)・(789)・(790)・(791)・(792)・(793)・(794)・(795)・(796)・(797)・(798)・(799)・(800)・(801)・(802)・(803)・(804)・(805)・(806)・(807)・(808)・(809)・(810)・(811)・(812)・(813)・(814)・(815)・(816)・(817)・(818)・(819)・(820)・(821)・(822)・(823)・(824)・(825)・(826)・(827)・(828)・(829)・(830)・(831)・(832)・(833)・(834)・(835)・(836)・(837)・(838)・(839)・(840)・(841)・(842)・(843)・(844)・(845)・(846)・(847)・(848)・(849)・(850)・(851)・(852)・(853)・(854)・(855)・(856)・(857)・(858)・(859)・(860)・(861)・(862)・(863)・(864)・(865)・(866)・(867)・(868)・(869)・(870)・(871)・(872)・(873)・(874)・(875)・(876)・(877)・(878)・(879)・(880)・(881)・(882)・(883)・(884)・(885)・(886)・(887)・(888)・(889)・(890)・(891)・(892)・(893)・(894)・(895)・(896)・(897)・(898)・(899)・(900)・(901)・(902)・(903)・(904)・(905)・(906)・(907)・(908)・(909)・(910)・(911)・(912)・(913)・(914)・(915)・(916)・(917)・(918)・(919)・(920)・(921)・(922)・(923)・(924)・(925)・(926)・(927)・(928)・(929)・(930)・(931)・(932)・(933)・(934)・(935)・(936)・(937)・(938)・(939)・(940)・(941)・(942)・(943)・(944)・(945)・(946)・(947)・(948)・(949)・(950)・(951)・(952)・(953)・(954)・(955)・(956)・(957)・(958)・(959)・(960)・(961)・(962)・(963)・(964)・(965)・(966)・(967)・(968)・(969)・(970)・(971)・(972)・(973)・(974)・(975)・(976)・(977)・(978)・(979)・(980)・(981)・(982)・(983)・(984)・(985)・(986)・(987)・(988)・(989)・(990)・(991)・(992)・(993)・(994)・(995)・(996)・(997)・(998)・(999)・(1000)・(1001)・(1002)・(1003)・(1004)・(1005)・(1006)・(1007)・(1008)・(1009)・(1010)・(1011)・(1012)・(1013)・(1014)・(1015)・(1016)・(1017)・(1018)・(1019)・(1020)・(1021)・(1022)・(1023)・(1024)・(1025)・(1026)・(1027)・(1028)・(1029)・(1030)・(1031)・(1032)・(1033)・(1034)・(1035)・(1036)・(1037)・(1038)・(1039)・(1040)・(1041)・(1042)・(1043)・(1044)・(1045)・(1046)・(1047)・(1048)・(1049)・(1050)・(1051)・(1052)・(1053)・(1054)・(1055)・(1056)・(1057)・(1058)・(1059)・(1060)・(1061)・(1062)・(1063)・(1064)・(1065)・(1066)・(1067)・(1068)・(1069)・(1070)・(1071)・(1072)・(1073)・(1074)・(1075)・(1076)・(1077)・(1078)・(1079)・(1080)・(1081)・(1082)・(1083)・(1084)・(1085)・(1086)・(1087)・(1088)・(1089)・(1090)・(1091)・(1092)・(1093)・(1094)・(1095)・(1096)・(1097)・(1098)・(1099)・(1100)・(1101)・(1102)・(1103)・(1104)・(1105)・(1106)・(1107)・(1108)・(1109)・(1110)・(1111)・(1112)・(1113)・(1114)・(1115)・(1116)・(1117)・(1118)・(1119)・(1120)・(1121)・(1122)・(1123)・(1124)・(1125)・(1126)・(1127)・(1128)・(1129)・(1130)・(1131)・(1132)・(1133)・(1134)・(1135)・(1136)・(1137)・(1138)・(1139)・(1140)・(1141)・(1142)・(1143)・(1144)・(1145)・(1146)・(1147)・(1148)・(1149)・(1150)・(1151)・(1152)・(1153)・(1154)・(1155)・(1156)・(1157)・(1158)・(1159)・(1160)・(1161)・(1162)・(1163)・(1164)・(1165)・(1166)・(1167)・(1168)・(1169)・(1170)・(1171)・(1172)・(1173)・(1174)・(1175)・(1176)・(1177)・(1178)・(1179)・(1180)・(1181)・(1182)・(1183)・(1184)・(1185)・(1186)・(1187)・(1188)・(1189)・(1190)・(1191)・(1192)・(1193)・(1194)・(1195)・(1196)・(1197)・(1198)・(1199)・(1200)・(1201)・(1202)・(1203)・(1204)・(1205)・(1206)・(1207)・(1208)・(1209)・(1210)・(1211)・(1212)・(1213)・(1214)・(1215)・(1216)・(1217)・(1218)・(1219)・(1220)・(1221)・(1222)・(1223)・(1224)・(1225)・(1226)・(1227)・(1228)・(1229)・(1230)・(1231)・(1232)・(1233)・(1234)・(1235)・(1236)・(1237)・(1238)・(1239)・(1240)・(1241)・(1242)・(1243)・(1244)・(1245)・(1246)・(1247)・(1248)・(1249)・(1250)・(1251)・(1252)・(1253)・(1254)・(1255)・(1256)・(1257)・(1258)・(1259)・(1260)・(1261)・(1262)・(1263)・(1264)・(1265)・(1266)・(1267)・(1268)・(1269)・(1270)・(1271)・(1272)・(1273)・(1274)・(1275)・(1276)・(1277)・(1278)・(1279)・(1280)・(1281)・(1282)・(1283)・(1284)・(1285)・(1286)・(1287)・(1288)・(1289)・(1290)・(1291)・(1292)・(1293)・(1294)・(1295)・(1296)・(1297)・(1298)・(1299)・(1300)・(1301)・(1302)・(1303)・(1304)・(1305)・(1306)・(1307)・(1308)・(1309)・(1310)・(1311)・(1312)・(1313)・(1314)・(1315)・(1316)・(1317)・(1318)・(1319)・(1320)・(1321)・(1322)・(1323)・(1324)・(1325)・(1326)・(1327)・(1328)・(1329)・(1330)・(1331)・(1332)・(1333)・(1334)・(1335)・(1336)・(1337)・(1338)・(1339)・(1340)・(1341)・(1342)・(1343)・(1344)・(1345)・(1346)・(1347)・(1348)・(1349)・(1350)・(1351)・(1352)・(1353)・(1354)・(1355)・(1356)・(1357)・(1358)・(1359)・(1360)・(1361)・(1362)・(1363)・(1364)・(1365)・(1366)・(1367)・(1368)・(1369)・(1370)・(1371)・(1372)・(1373)・(1374)・(1375)・(1376)・(1377)・(1378)・(1379)・(1380)・(1381)・(1382)・(1383)・(1384)・(1385)・(1386)・(1387)・(1388)・(1389)・(1390)・(1391)・(1392)・(1393)・(1394)・(1395)・(1396)・(1397)・(1398)・(1399)・(1400)・(1401)・(1402)・(1403)・(1404)・(1405)・(1406)・(1407)・(1408)・(1409)・(1410)・(1411)・(1412)・(1413)・(1414)・(1415)・(1416)・(1417)・(1418)・(1419)・(1420)・(1421)・(1422)・(1423)・(1424)・(1425)・(1426)・(1427)・(1428)・(1429)・(1430)・(1431)・(1432)・(1433)・(1434)・(1435)・(1436)・(1437)・(1438)・(1439)・(1440)・(1441)・(1442)・(1443)・(1444)・(1445)・(1446)・(1447)・(1448)・(1449)・(1450)・(1451)・(1452)・(1453)・(1454)・(1455)・(1456)・(1457)・(1458)・(1459)・(1460)・(1461)・(1462)・(1463)・(1464)・(1465)・(1466)・(1467)・(1468)・(1469)・(1470)・(1471)・(1472)・(1473)・(1474)・(1475)・(1476)・(1477)・(1478)・(1479)・(1480)・(1481)・(1482)・(1483)・(1484)・(1485)・(148



山川 詳説日本史図録 第10版

日探 705

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-02531-8

Point

教科書の章・節・小見出しに沿った構成
資料を読む視点として、見開きごとにページの下にQ&Aを配置

214 公武合体と尊皇運動①、幕府の滅亡

215 戊辰戦争と新政府の発足

教科書には掲載していないものを中心に、写真約2500点、図版約1200点を収録

項目のまとめとして、ページの冒頭に年表や模式図を示しています

見開きごとにページの下にQ&Aを配置

見開き形式で100点になるよう構成しています

地図や写真、史料、図などを用いた問題も多く収録しています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



詳説日本史 10分間テスト

日探 705

A5判/164頁+解答24頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-02241-6

Point

教科書の内容を79のテーマに分け、各テーマの基本事項を20問の一問一答形式で確認
右ページの「補充・復習」は、知識を充実させるための追加問題や地図・表形式の関連問題で構成

左ページの「10分間テスト」で、基本的な知識を短時間で確認

各問題にチェック欄を設け、繰り返し学習を促します

「補充・復習」では、追加の関連問題で知識をさらに充実

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



詳説日本史 スタンダードテスト

日探 705

B5判/136頁+解答24頁/2色刷/定価825円(10%税込)/ISBN978-4-634-02242-3

Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集
教科書の流れに沿った見開き1テーマ構成で、授業との併用や自学自習に最適

10 徳川政治

10-11世紀の東アジアに関する地図をみて、下記の設問に答えよ。

11 徳川幕府の成立

12 徳川幕府の政治

13 徳川幕府の文化

14 徳川幕府の海外関係

15 徳川幕府の終焉

見開き形式で100点になるよう構成しています

地図や写真、史料、図などを用いた問題も多く収録しています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



書きこみ教科書 詳説日本史

日探 705

A5判/368頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-01221-9

Point

教科書の文章を読み進めながら空欄に重要用語を書きこむ学習参考書
必要に応じて整理欄を設け、文学作品・美術作品の一覧表や写真も掲載

8 近世の幕明け

1 織豊政権

2 近世への転換

3 徳川幕府の成立

4 徳川幕府の政治

5 徳川幕府の文化

6 徳川幕府の海外関係

7 徳川幕府の終焉

解答欄は書きこみやすい大きさで、字数分の下線付き

必要に応じて整理欄を設けています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



山川 詳説世界史図録 第5版

世探 704

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-04515-6

Point

巻頭の「同時代の世界」で時間軸と空間軸を整理
文字資料の点数を増やし、各資料に読み解く視点を示す問いをつけています

38 南アジアの古代文明

1 古代文明の成立

メソポタミア文明、エジプト文明、インド文明の成立と発展。南アジアの地理的特徴と気候の多様性。古代文明の交流と影響。

2 南アジアの風土と人々

南アジアの地理的特徴と気候の多様性。古代文明の交流と影響。

3 アーリア人の進出と社会制度

アーリア人の進出と社会制度。ヴェーダの成立とカースト制度。

地域と時代のインデックスを追加、学習範囲がわかりやすい

単元全体やポイントを整理・図式化した「まとめ」を設定



詳説世界史 スタンダードテスト

世探 704

B5判/152頁+解答32頁/2色刷/定価935円(10%税込)/ISBN978-4-634-03222-4

Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集
「知識・技能」を働かせて解くA問題と「思考力・判断力・表現力」を働かせるB問題で構成

60 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊

第一次世界大戦後の世界。ヴェルサイユ体制の崩壊と世界恐慌の発生。経済危機と社会不安の拡大。

A問題、B問題それぞれの得点欄を設け、「思考力・判断力・表現力」を問うB問題は解答欄に*を付しています

時代スケールを追加し、「いつ、どこで」を常に意識できるように該当する時代を赤く表示



詳説世界史10分間テスト

世探 704

A5判/168頁+解答32頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-04131-8

Point

教科書の内容を81テーマに分け、各テーマ見開き2頁でまとめたテスト集
探究的学習の前提となる知識をコンパクトに整理

2 文明の成立と古代文明の特質(2)

メソポタミア文明、エジプト文明、インド文明の成立と発展。南アジアの地理的特徴と気候の多様性。古代文明の交流と影響。

左ページの「10分間テスト」で約20個の基本的な用語をおさえます

「advanced」では発展問題や理解を深める問題を取り上げ、さらなる知識の定着をはかります

「exercise」では図や表、地図を用いた問題に取り組みます



書きこみ教科書 詳説世界史

世探 704

A5判/336頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-03221-7

Point

教科書の文章を読みすすめるながら、空欄に重要用語を書きこむ学習参考書
地図問題を充実させ、教科書中の歴史史料も適宜取り上げています

12 産業革命と環大西洋革命

産業革命の始まりと発展。環大西洋革命の経緯と影響。経済的変革と社会的変革の同時進行。

地図問題を充実させ、2色刷で大きく掲載

解答欄は字数を下線にして書きこみやすくしています

